

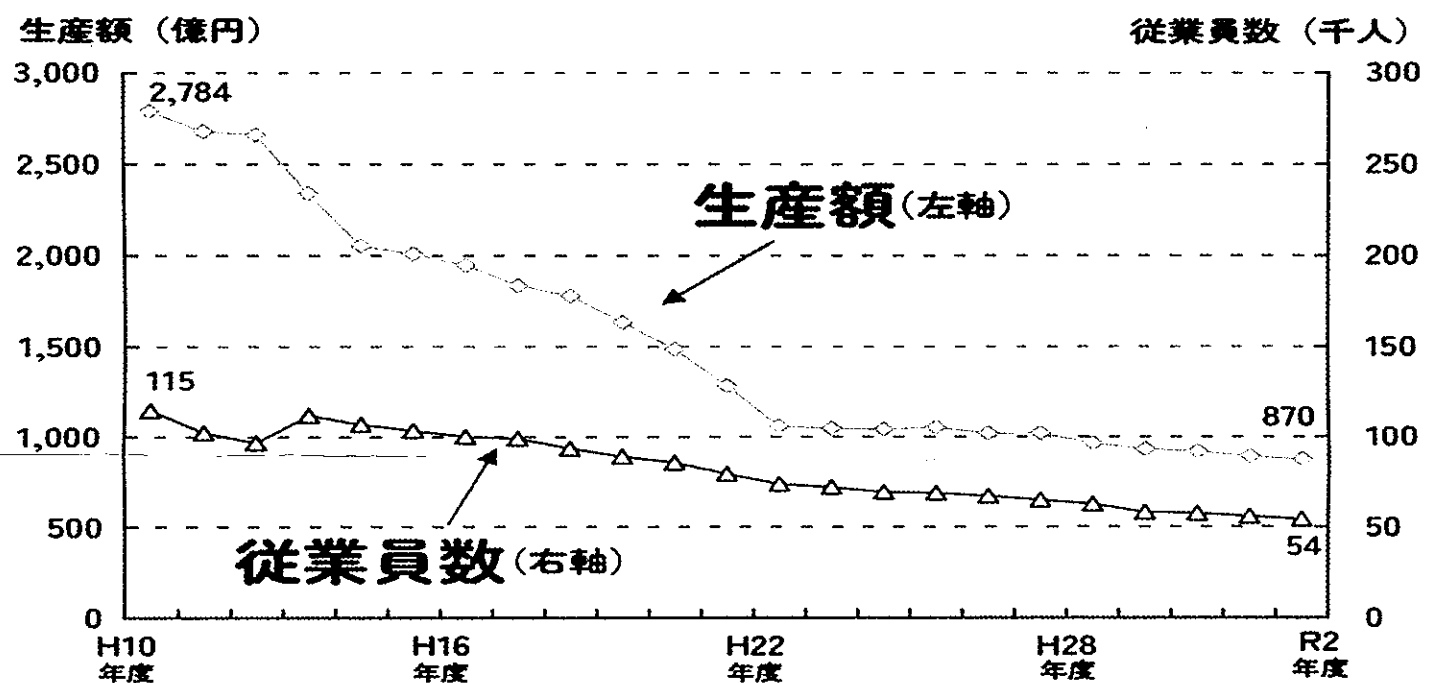
日本における伝統ものづくり（地域の歴史、伝統の素材、技法、意匠などに立脚したものづくり）は、全国各地の産地および産地外で展開されており、そこから生み出される伝統的工芸品には、織物、染色品、陶磁器、漆器、木工品、金工品、和紙、貴石細工など多くの種類があります。しかし、下の図が示すように、生産額は平成10（1998）年度は2,784億円だったのが令和2（2020）年度には870億円となり、従事者数も同じく平成10年度の115,000人から令和2年度は54,000人と大幅に減少しています。

最初に、伝統的工芸品の生産額と従事者数が減少している背景および課題にはどのようなことがあるか、あなたが考えたこと、知っていることを述べてください。

また、世界的にもものづくりの生産および消費の過程で持続可能性の重要性が高まる中、今後、伝統ものづくりを持続可能な産業とするために何ができるか、あなたが見いだした課題への対応や解決策を含めて、考えを論じてください。

（800字以内）

伝統的工芸品の生産額・従業員の推移数



出典：経済産業省「伝統的工芸品産業の自立化に向けたガイドブック」（令和4年5月）